

環 境 報 告 書

2024 年 12 月報告

ふりがな	きょうわかんこうかぶしきかいしゃ まつもと			認定 ランク	☆
事業所名	共和観光株式会社 松本リサイクルセンター				
概 要	所 在 地	松本市大字島内 6931-87			
	代 表 者 名	江本 日東			
	事業規模 (主な事業内容 ・従業員数)	一般廃棄物・産業廃棄物の収集運搬及び中間処理 プラスチック（主にペットボトル）のリサイクル 金属くず商 従業員数 26 名			
	担 当 者	所属	総務課	氏名	中田 仁美
	連 絡 先	電話	0263-40-2150	FAX	0263-40-2160

○ 環境に配慮した取組みの内容

環境に対する理念・方針	別紙参照
環境に関する取組目標	1. CO2 排出量の削減 2. 使用地下水の削減 3. 太陽光発電の実施 4. 工場内外の清掃活動 5. 見学者の受け入れによる環境への啓蒙活動 6. ペットボトルキャップの回収・寄付による、ワクチンを海外の子供に送る活動への参加

具体的な取組内容	1. CO2 排出量の削減 ・エコアクション 21 を実施する中で、消費電力等を計画的に管理している。 2. 使用地下水の削減 ・「株式会社サクセン」と保守管理契約を締結し管理している。また、工場内でも使用水を再利用して削減に努めている。 3. 太陽光発電の実施 ・10 年前から当社工場の屋根に太陽光発電システムを設置している。 4. 工場周辺の清掃 ・工場の敷地内と周辺道路で清掃活動を実施している。 5. 見学者の受け入れ ・長野県内の自治体や学校を中心に工場見学を実施して、プラスチックのリサイクルを通して環境活動への理解を深めてもらっている。 6. ペットボトルキャップの回収・寄付による、ワクチンを海外の子供に送る活動への参加 ・ペットボトルキャップの回収による寄付を通して、貧困地域にワクチンを送る「世界の子どもにワクチンを日本委員会」の活動に参加している。
-----------------	---

実施結果（成果）	「具体的な取り組み内容」の、 1 及び 2.は、「エコアクション 21」による取り組みを継続して実施している。 (2023 年の CO2 排出量は 509,474・CO2、使用地下水は 17,940 m³) 3 は、太陽光発電は、2023 年 338,025kwh 4 は、当社工場周辺の清掃を全社員で定期的に実施している。(主にゴミ拾い) 5 は、松本養護学校、市町村の衛生委員会が工場見学に来訪した。 6 は、「世界の子供にワクチンを日本委員会」を通してペットボトルキャップの回収と寄付を実施している。(2023 年は約 18 t)
課題・問題点と その改善に向けた取り組み	国内での大手企業によるペットボトルリサイクル活動が活発に行われている為、仕入価格の上昇、量の確保が難しい状況が続いており当社のような小企業は依然厳しい状況ですが地元の各市町村や企業と連携して地道に取り組むしかないと考えている。
その他、 アピールポイント等	・当社は廃棄物(主にプラ・ペットボトル)のリサイクルを主な業務にしており、環境問題に関して多少は貢献していると考えます。 ・年々ペットボトルキャップの回収・寄付への地域の方々の関心が高まっています。ペットボトルキャップの寄付を通して地域の方々にリサイクルの必要性を少しでも周知していきたいと考えます。



共和観光株式会社 松本リサイクルセンターは
SDGsの達成に意欲的に取り組む長野県の企業として
長野県SDGs推進企業に登録されました



共和観光株式会社

2023 年度 環境経営レポート

(対象期間: 2023 年1月1日～ 2023 年12月31日)



作成日: 2024年3月1日

目 次

項 目	ページ
あいさつ・環境経営方針	3
組織の概要	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
許可の内容	6
廃棄物処理フロー	7
主な環境負荷の実績・環境経営目標及びその実績	8
環境経営計画の取組結果とその評価	9～11
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	12
緊急事態対応訓練	13
代表者による全体の評価と見直し・指示	14

環境活動への取組

1. エコアクション21(2015年5月20日認証・登録)認証・登録番号0010606
2. 長野県SDGs推進企業(2022年1月31日登録)登録番号1170
3. ecoオフィス松本(2015年12月25日認定)認定番号27-002
4. 工場見学を通しての、見学者へのリサイクルに関する啓蒙活動

□ごあいさつ

当社（共和観光株式会社）は、
KYOWA-ISM（共和イズム）

MISSION：私たちは「+1」を追求し、関わる人々を笑顔でつなぎ 活力ある社会づくりに貢献します。
VALUE：感謝の気持ちを大切にします。楽しく元気に行動します。相互理解を深めます。
のもと、「松本リサイクルセンター」における廃棄物等の再資源化活動を通して、美しい地球を子供たちに残すために、環境保全に貢献する企業として行動して参ります。

環境経営方針

<環境経営理念>

共和観光株式会社 松本リサイクルセンターは、産業廃棄物・一般廃棄物の収集運搬・中間処理、及び廃プラスチックのリサイクルを通して、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境課題の解決に向けた活動に自主的・積極的に取り組みます。

安全で安心していただける製品を効率よく、無駄なく、タイムリーにお客様に提供することが当社の一番の環境対策と考えて、従業員一丸となって継続的に改善活動に取り組んでまいります。

<環境保全への行動指針>

- 1． 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
- 2． 事業所や車両の二酸化炭素削減に努めます。
- 3． 自社の廃棄物の削減や受託廃棄物の再資源化に努めます。
- 4． 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
- 5． 化学物質の適正管理に努めます。
- 6． S D G s の推進企業として、地球環境の保全に貢献します。
- 7． 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。

制定日： 2022年1月1日

代表取締役社長 江本 日東

□組織の概要

更新日：2023年1月1日

- (1) 名称及び代表者名
共和観光株式会社
代表取締役社長 江本 日東
- (2) 所在地
本 社 長野県松本市女鳥羽二丁目1番2号
リサイクル事業部 長野県松本市島内6931-8(対象事業所)
ホテル事業部 長野県長野市南千歳2-17-1
アミューズメント事業 穂高店(長野県安曇野市穂高8190-5)他7店
介護事業部 長野県安曇野市豊科3966-41
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 センター長 赤津 聡 TEL：0263-40-2150
担当者 総務課 鳥飼隆宏、中田仁美 TEL：0263-40-2150
- (4) 事業内容
産業廃棄物・一般廃棄物の収集運搬、産業廃棄物及び一般廃棄物の処分業
- (5) 事業の規模
法人設立 1969年1月23日
資本金 3000 万円
売上高 13,406 百万円
- | | | | | | |
|-------|---------------------|----------------------|---------------------|---------------------|--------------------|
| | 本社 | アミューズメント事業 | リサイクル事業部 | ホテル事業部 | 介護事業部 |
| 従業員 | 25 名 | 132 名 | 25 名 | 38 名 | 19 名 |
| 延べ床面積 | 1564 m ² | 13213 m ² | 7070 m ² | 6158 m ² | 549 m ² |
- 受託した産業廃棄物
- | | | | |
|--------------|-------|---------|------|
| 収集運搬量 | 116 t | | |
| 中間処理量 | 349 t | うち再資源化量 | 96 t |
| 最終処分量 | 0 t | | |
| 中間処理後の産廃の処分量 | 18 t | うち再資源化量 | 18 t |
- | | | |
|--------------|-----|--------------------------------|
| 車種 | 台数 | 備 考 |
| 4～13 t ウイング車 | 4 台 | 4 t (2 台)、7 t (1 台)、13 t (1 台) |
| コンテナ専用車 | 1 台 | 脱着装置付 |
| 軽車両 | 1 台 | |
| | 台 | |
| 合計 | 6 台 | |
- 主要設備
- | | | |
|-------|-----|----|
| 名称 | 台数 | 備考 |
| 破碎機 | 3 基 | |
| 圧縮梱包機 | 1 基 | |
| | 基 | |
- 積み替え保管施設
- | | | | |
|----|----------------|------|----|
| 名称 | 保管面積 | 保管上限 | 備考 |
| | m ² | m | |
| | m ² | m | |
| | m ² | m | |

□認証・登録の対象組織・活動

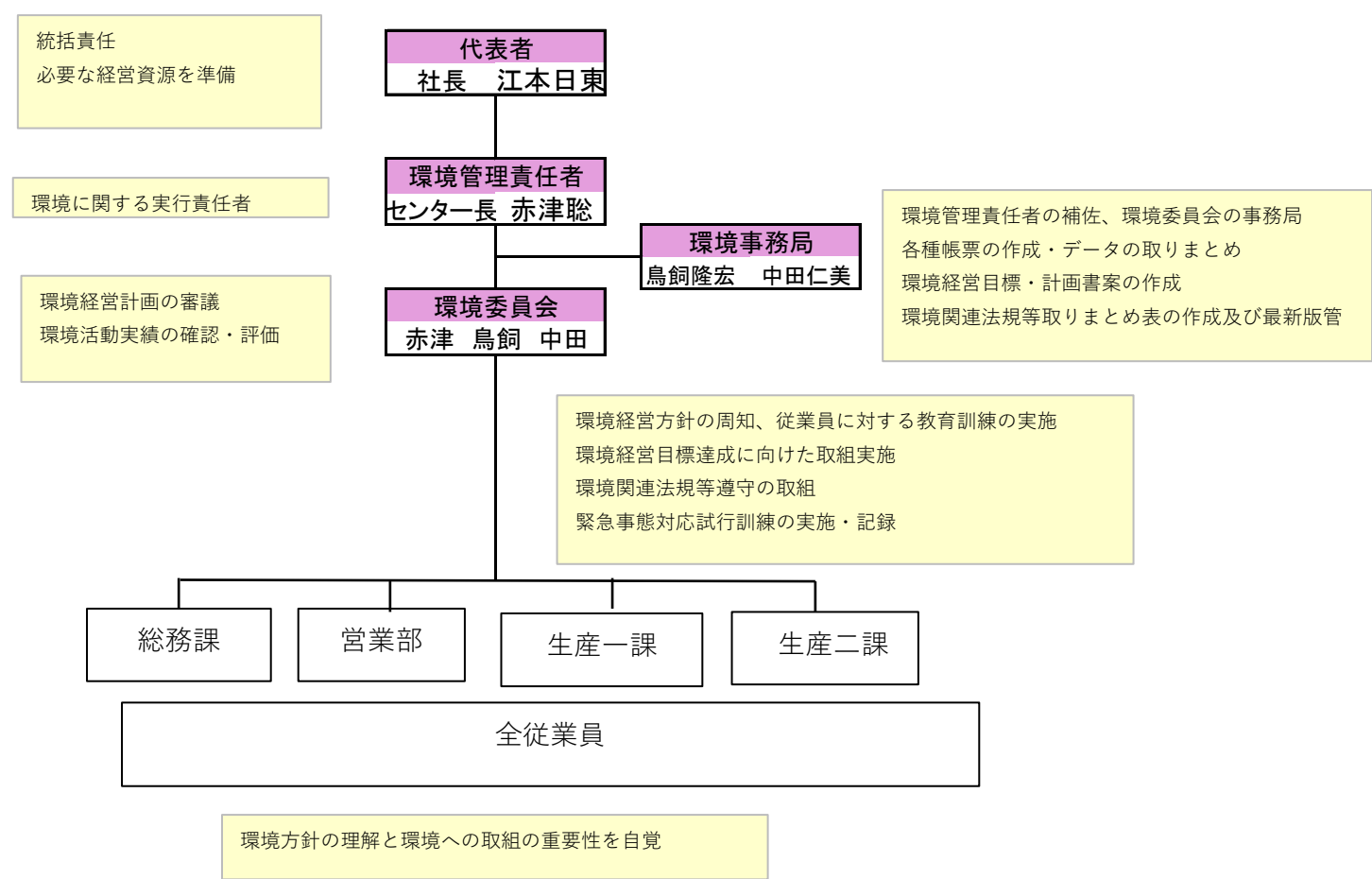
- 登録組織名： 共和観光株式会社
対象事業所： リサイクル事業部
- 対象外： 本社、アミューズメント事業部、ホテル事業部、介護事業部
- 活動： 産業廃棄物・一般廃棄物の収集運搬、産業廃棄物及び一般廃棄物の処分業

□事業の紹介

- 産業廃棄物の収集運搬及び中間処理
- 一般廃棄物の収集運搬及び中間処理
- PETボトル等プラスチックのリサイクル
- 紙・金属等資源物のリサイクル

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日： 2023年1月1日



□許可の内容

一般廃棄物収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	備 考
安曇野市	安曇野市指令4環第601号	令和4年10月17日	令和6年9月30日	

産業廃棄物収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	積替保管	廃棄物の種類														
					燃え殻	汚泥	廃プラスチック	木くず	紙くず	繊維くず	ゴムくず	ガラス・コンクリート・陶器くず	がれき類	廃油	廃酸	廃アルカリ	金属くず	動植物性残さ	鉱さい
長野県	2004143821	平成30年7月28日	令和7年7月27日	無			○	○	○	○		○	○				○		
岐阜県	2100143821	令和2年12月4日	令和7年12月3日	無			○	○	○	○		○	○				○		
山梨県	900143821	令和4年11月22日	令和9年11月21日	無			○	○	○	○		○	○				○		
群馬県	1000143821	令和2年9月28日	令和7年9月27日	無			○												
栃木県	90014382	令和6年1月18日	令和11年1月17日	無			○												
静岡県	2201143821	令和3年10月12日	令和8年10月11日	無			○												

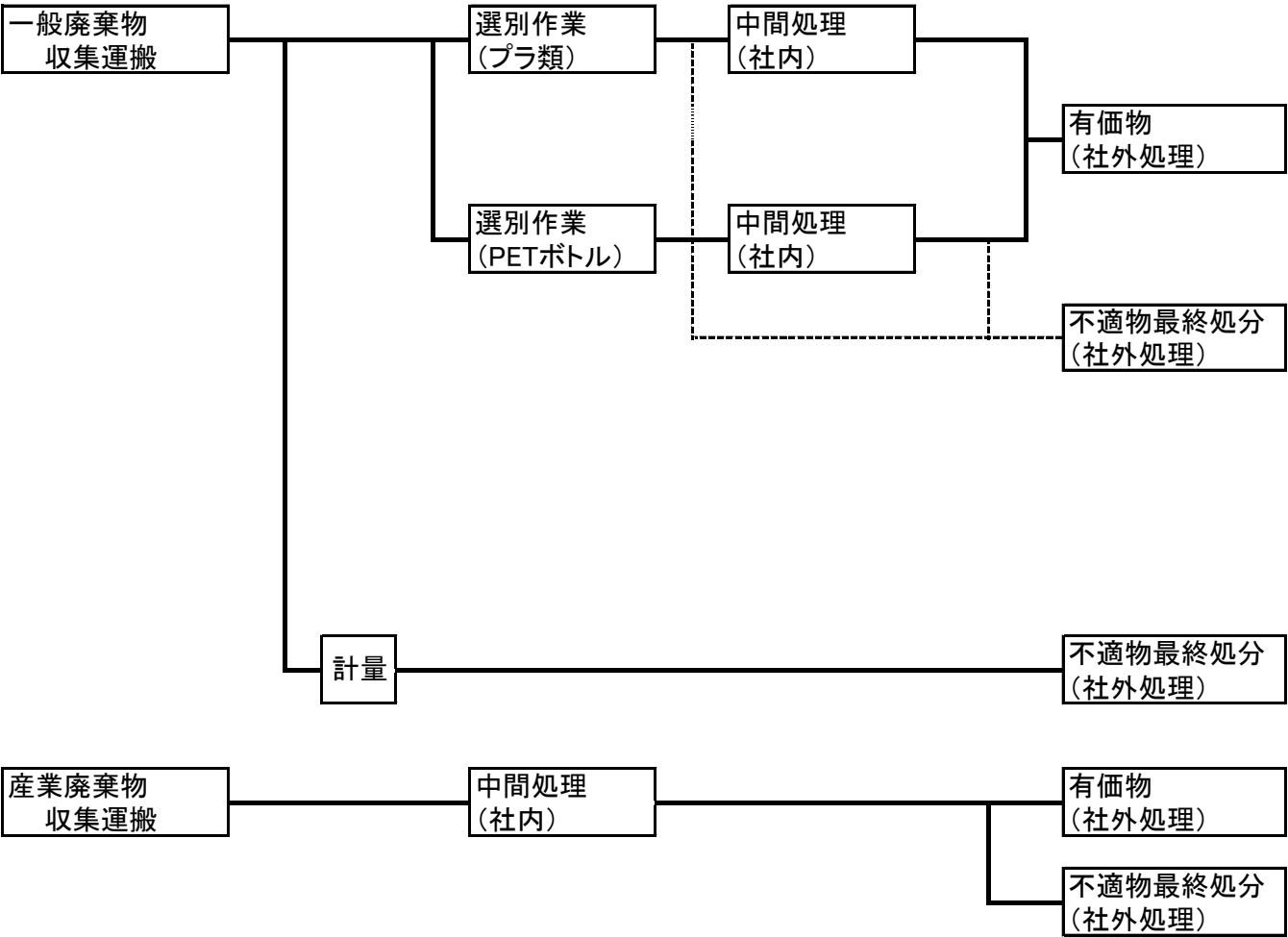
一般廃棄物処分業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	積替保管	廃棄物の種類												
					廃プラスチック	紙くず	繊維くず	金属くず									
松本市	松環廃指令第1017号	令和5年4月1日	令和7年3月31日		○	○	○	○									

産業廃棄物処分業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	事業の範囲	廃棄物の種類												
					廃プラスチック	木くず	紙くず	繊維くず	ガラス・コンクリート・陶器くず	がれき類	金属くず						
長野県	2024143821			中間処理													
		平成30年7月22日	令和7年7月21日	破碎・洗浄・乾燥	○												
		平成30年7月22日	令和7年7月21日	圧縮梱包	○												
		平成30年7月22日	令和7年7月21日	溶融固化	○												
		平成30年7月22日	令和7年7月21日	切断	○												

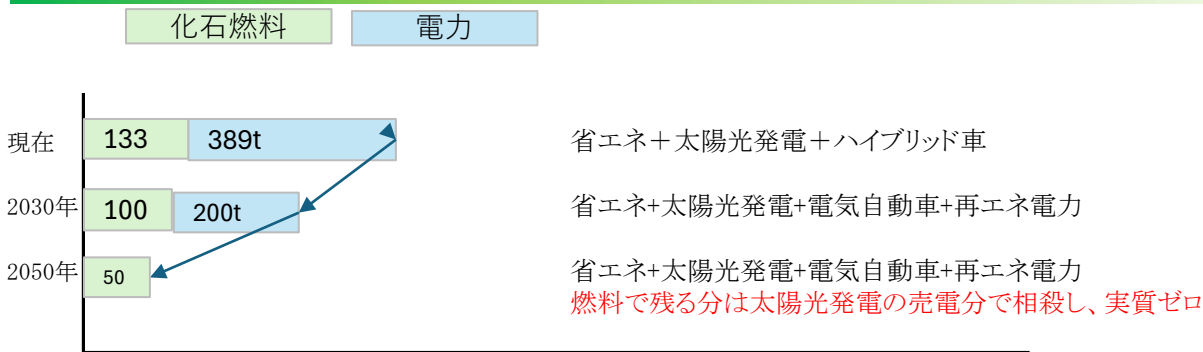
□廃棄物処理フロー



□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	547,816	522,292	509,474
受託収集運搬量	トン	79	74	116
受託中間処理量	トン	268	261	349
受託最終処分量	トン	0	0	0
廃棄物排出量	トン	432	207	371
一般廃棄物排出量	トン	0.71	1	0
産業廃棄物排出量	トン	431	206	371
水使用量	m ³	18407	18,035	17,940

カーボンニュートラルに向けたわが社の取り組み



□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂		522,292	509,474
受託収集運搬量	トン	79	74	116
受託中間処理量	トン	268	261	349
受託最終処分量	トン	0	0	0
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	トン	0.71	0.71	0.26
産業廃棄物排出量	トン	431.42	205.93	370.91
総排水量	m ³	18407	18,035	17,940

※電力の二酸化炭素排出係数（調整後） 0.431 0.431 0.431 kg-CO₂/kWh
中部電力ミライズ2021年度

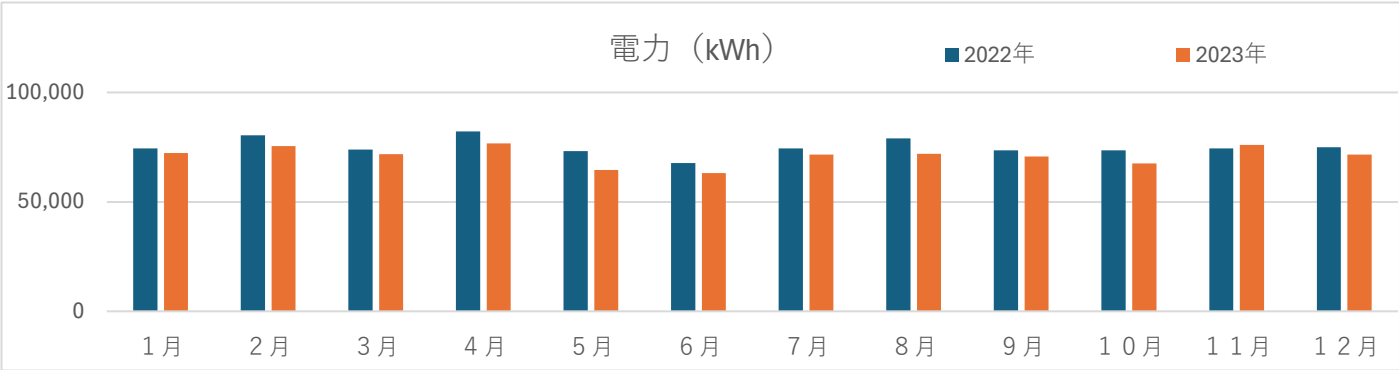
□環境経営目標及びその実績

年 度		基準値	2023年		評価	2024年	2025年
項 目		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	389,015	387,069	367,920	○	385,124	383,179
	基準年度比	2022年	99.5%	95%		99.0%	98.5%
灯油による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	8,710	8,623	10,104	×	8,536	8,449
	基準年度比	2022年	99%	116%		98%	97%
LPGによる二酸化炭素削減	kg-CO ₂	476	471	330	○	467	462
	基準年度比	2022年	99%	69%		98%	97%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	124,091	122,850	131,120	×	121,609	120,369
	基準年度比	2022年	99%	106%		98%	97%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	522,292	519,014	509,474		515,736	512,459
混合廃棄物の削減	kg	22	21	27	×	21	20
	基準年度比	2022年	95%	98%		93%	90%
受託廃棄物のリサイクル率の向上	%	71%	72%	75%	○	73%	74%
地下水の削減	m ³	18,035	17,133	17,940	×	16,592	16,232
	基準年度比	2022年	95%	99%		92%	90%
グリーン購入の推進	行動目標（次項による）						
地域での環境経営活動							

口環境経営計画の取組結果とその評価

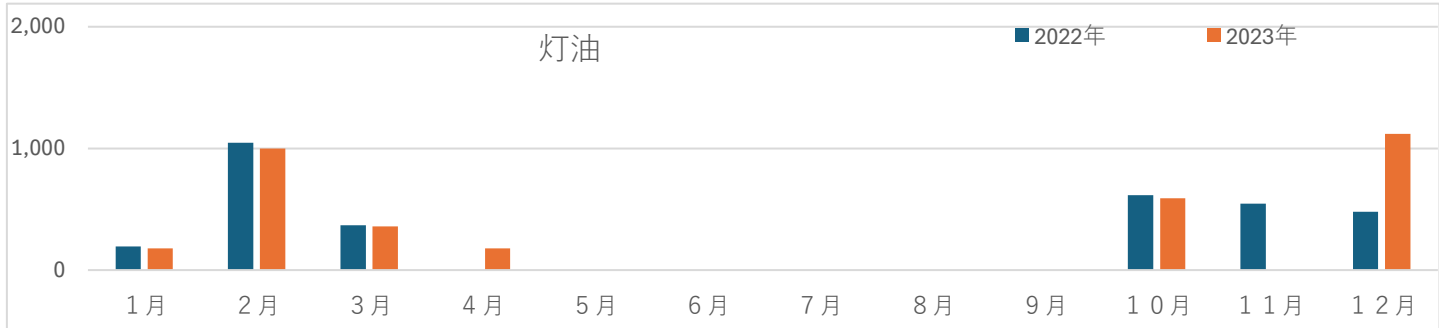
数値目標:○達成 ×未達成
活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	【評価】後半に未達成があるが、これは生産量の増加によるものである。年間でみると、目標を達成できた。 【次年度の取組】 次年度も活動を継続する。また、専門家の診断など実施して、工場設備等の省エネを検討したい。
・空調温度の適正化		
・不要照明の消灯		



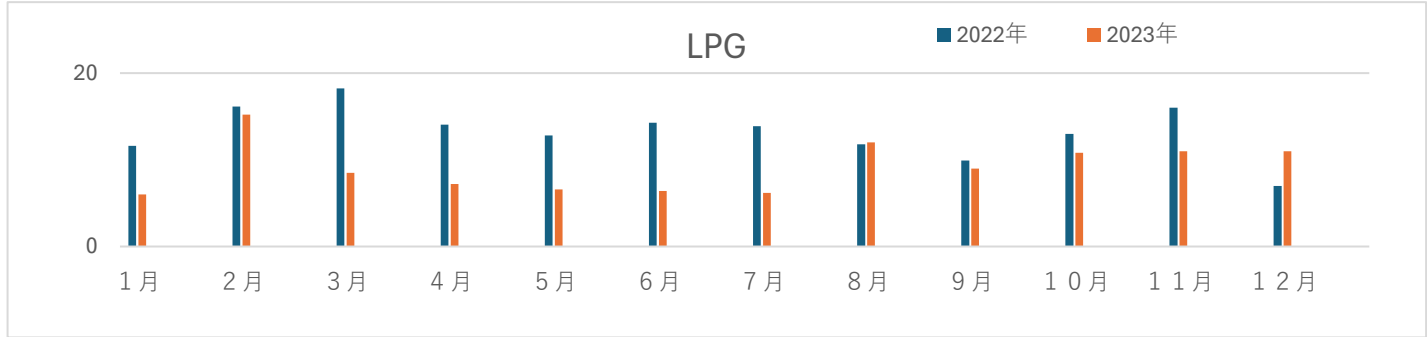
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2022年	74,424	80,400	73,932	82,173	73,113	67,809	74,423	78,978	73,631	73,631	74,516	75,004
2023年	72,329	75,578	71,849	76,703	64,489	63,148	71,561	71,938	70,787	67,594	75,986	71,680

灯油による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	【評価】未達成月がある。【次年度の取組】次年度も活動を継続する。
・暖房温度の適正化		



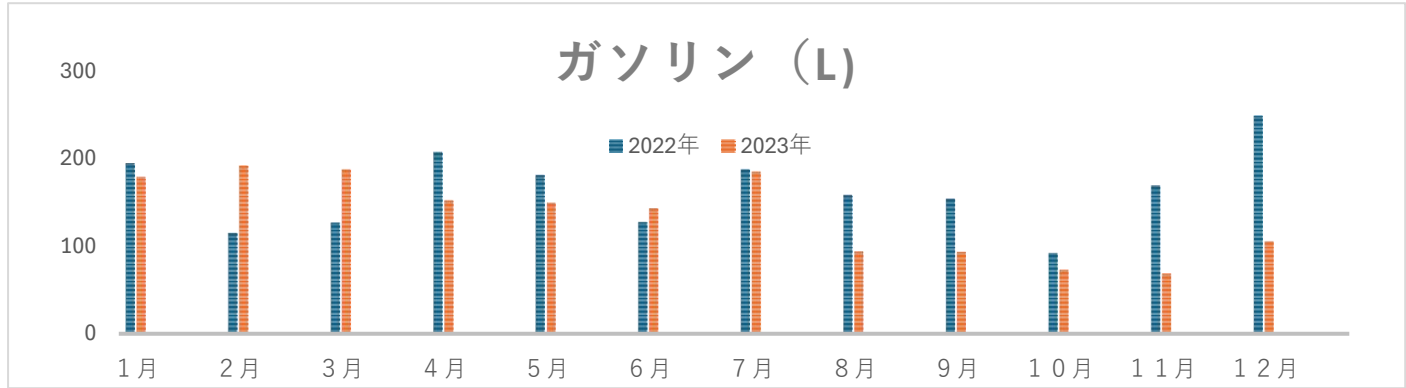
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2022年	195	1,046	370	0	0	0	0	0	0	615	545	480
2023年	179	1,000	360	180	0	0	0	0	0	590	0	1,118

LPGによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	【評価】今年度後半に未達成の月が多い。通期では目標達成できた。 【次年度の取組】 次年度も活動を継続する。未達成の月の原因を調べて、対策を検討する。
・温水温度の適正化		
・温水配管の保温修理		

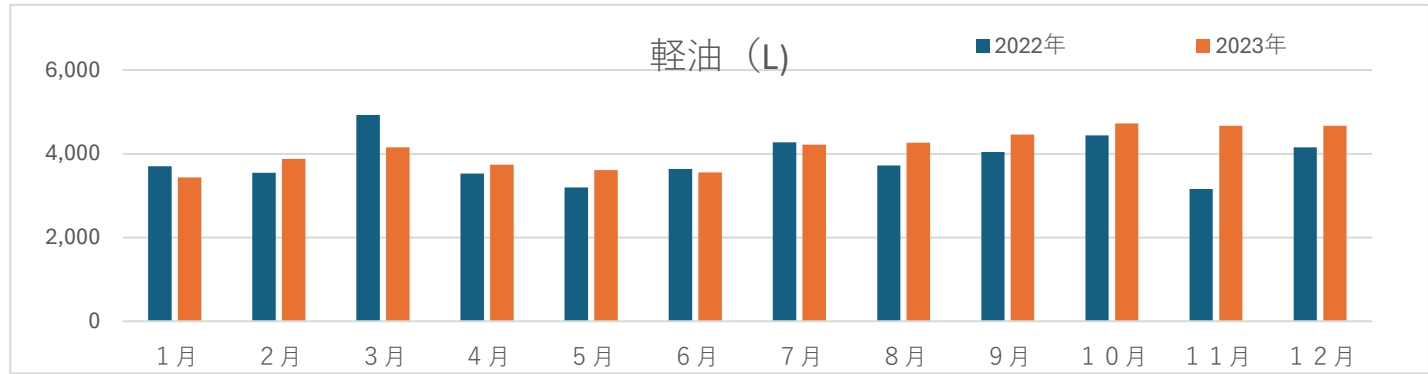


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2022年	12	16	18	14	13	14	14	12	10	13	16	7
2023年	6	15	9	7	7	6	6	12	9	11	11	11

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	【評価】収集運搬、営業の多少で月ごとに変動があるが、未達成が多い。 【次年度の取組】次年度も省エネを継続する。燃料費が高騰しており、取引先への訪問回数や経路を検討する。
・アイドリングストップ		

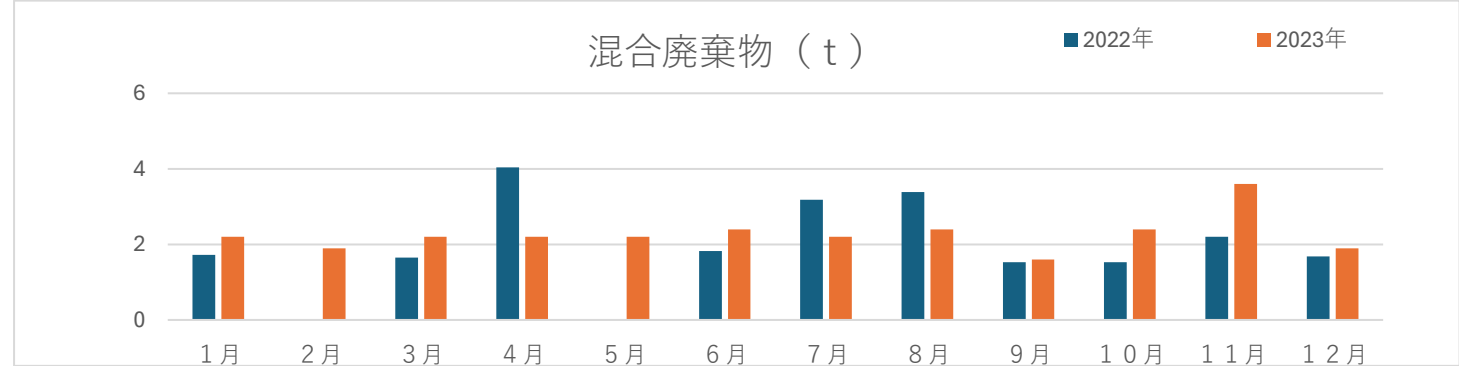


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2022年	195	115	127	208	181	128	188	159	154	92	169	249
2023年	179	192	187	152	149	143	185	94	94	73	69	105



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2022年	3,706	3,542	4,925	3,525	3,199	3,637	4,274	3,721	4,044	4,443	3,161	4,154
2023年	3,434	3,877	4,152	3,741	3,614	3,552	4,221	4,260	4,454	4,720	4,673	4,666

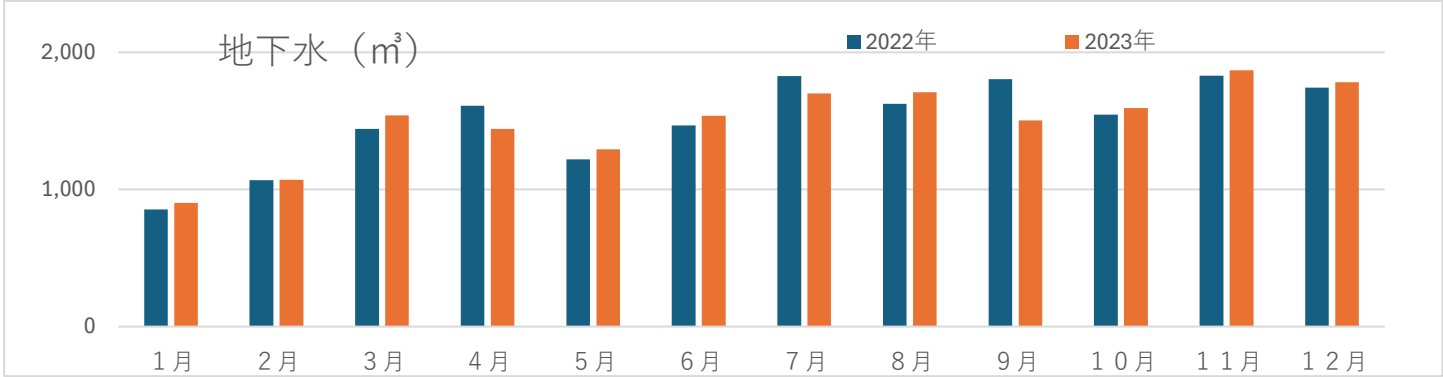
混合廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	【評価】自社から出る混廃である。リサイクルできない入荷品が影響
・分別の徹底		



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2022年	2	0	2	4	0	2	3	3	2	2	2	2
2023年	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	4	2

受託廃棄物のリサイクル率の向上	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	【評価】目標は72%だったが、今期は73.68%となり達成できた。これは、取引先の変更(品質に対する要請の違い)もあるが、従業員のスキルアップも一因である。 【次年度の取組】次年度も活動を継続する。歩留まり向上のための対策(仕入れ原料の品質管理等)を検討する。
・排出先の分別徹底の依頼		
・選別の徹底		
・リサイクル先の開拓		

地下水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	【評価】生産量の増加に伴い使用量が増加した。
・ 節水対策		【次年度の取組】
		使用量削減の為、貯水槽の設置やポンプのインバーター化の検討をする。



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2022年	854	1,067	1,442	1,611	1,220	1,466	1,828	1,625	1,804	1,546	1,830	1,742
2023年	901	1,070	1,541	1,443	1,294	1,537	1,699	1,709	1,503	1,593	1,869	1,781

グリーン購入の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・ 事務用品グリーン購入		【評価】事務用品に限られている。
地域での環境経営活動	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・ 作業開始前の車両点検		【評価】生産量増加等の為に燃料使用量が増加した。
・ エコドライブの推進（燃料使用量は別項		【次年度の取組】工場見学を積極的に受け入れるようにする。
・ 車両の清掃		
・ 工場見学による地域住民への啓蒙活動		

取組紹介欄

□各事業所の取組紹介

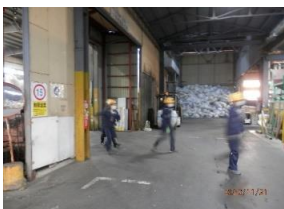
□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	収集運搬業、中間処理業、産業廃棄物（廃プラスチック）
騒音規制法	空気圧縮機、送風機、破碎機
振動規制法	空気圧縮機、破碎機
水質汚濁法	洗浄設備、排水施設
消防法	危険物の保管、防災訓練
フロン排出抑制法	業務用空調機
計量法	台貫、はかり
毒物及び劇物取締法	苛性ソーダ
グリーン購入法	購入品、調達品
顧客要求事項	

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

緊急事態対応訓練

緊急事態の想定： 火災の発生		
■実施日： 令和5年11月21日	■実施場所 製造工場全体	
■参加者： 23名	■実施内容 PET第二工場を発火想定（作業中） ・初期消火・避難誘導・消防署連絡等	
■評価： 火災報知器音の確認、職場別避難のスムーズな対応が図られている	手順書の変更の必要 ☐ あり ☒ なし	
■実施状況の様子		
火災報知器	初期消火作業	
	 	
消防ポンプ放水訓練		
   	避難・整列人員点呼	責任者講評
 		

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年2月22日

電力、ガスが目標達成となっていて取組の成果がでている。
しかし月々のばらつきが多いので、対策を検討していく。
一方、地下水使用量は目標未達だったので対策を講じる。
昨年審査時にアドバイスいただいた受水槽の設置やポンプのインバーター化も検討したが、他社との兼合いなどがあり保留となった。
廃プラスチックの受入増加に伴い、リサイクルできない物も増えた。
取引先へ分別方法をお話するなど周知徹底を図る。
カーボンニュートラルやSDGsへの取組が社会的課題となっていることを踏まえ、EA21を活用してこれらの課題解決に向けて、認証範囲を広げながら社を挙げて推進していく。

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☒ 変更なし	☐ 変更あり 実績を踏まえて見直すこと
実施体制	☒ 変更なし	☐ 変更あり